

# 美術科学習指導案

実施学級 第 1 学年 1 組 39 名  
 実施日時 令和 7 年 11 月 18 日 6 時限  
 実施場所 美術室  
 指導者 長谷川 禎一

1 単元名 あったらしいなこんな靴 - はりこの制作 -

## 2 単元目標

- ・足の形や特徴に着目し、はりこの技法や美しい構成、加工方法を考え、材料や用具などを工夫して表現する。
- ・材料の特徴やイメージなどを基に、形や色彩、動勢や量感などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
- ・材料から捉えた特徴やイメージなどを工夫して表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。

## 3 評価の観点

観点	評価観点別目標
知識・技能	<p><b>地</b> はりこの特性、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p><b>技</b> はりこの技法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。</p>
思考・判断・表現	<p><b>発</b> 自分の足型から感じ取った形や質感の特徴や美しさを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p><b>鑑</b> はりこの特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p><b>態表</b> 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表現する活動に取り組もうとしている。</p> <p><b>態鑑</b> 美術の創造活動の喜びを味わい美しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

## 4 単元全体の指導計画（全 10 時間）

第一次	① / 10	授業名	はりこの説明とアイデア
		ねらい	伝統技法を理解し、独自の靴をイメージする。
		「深い学び」への指導ポイント	日本の伝統工芸であるはりこ技法とアルミホイルの組み合わせで立体作品が出来上がることを理解していく。
第二次	②③④⑤ / 10	授業名	靴の形成とはりこ技法
		ねらい	アルミによる形成と紙が強度を増していくのを実感する。
		「深い学び」への指導ポイント	張り方によって、形に差がでることを理解していく。

第三次	⑥⑦⑧⑨ /10	授業名	靴の表面加工・デザイン
		ねらい	材料や色、形の工夫をし、創意工夫して制作する。
		「深い学び」への 指導ポイント	絵具で着色するだけでなく、コラージュ技法や加工方法を工夫することで、魅力ある作品になっていくことを理解する。
第四次	⑩/10	授業名	鑑賞
		ねらい	作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさを感じ取る。
		「深い学び」への 指導ポイント	他者の作品を鑑賞し、どのような表現の工夫がされているのか話し合う。

## 5. 本時（第三次 3時間目）

### (1) 本時の指導目標

観点	目標	手立て
知識及び技能	意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	靴底の厚紙を仮止めし、補強しやすいよう援助する。
思考力、判断力、表現力等	はりこの特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考えることができる。	参考作品の提示やアイデアのヒントとなるような資料を提供する。
主体的に学習に取り組む態度	意図に応じて工夫して表現する活動に取り組もうとしている。	個別に声掛けをしていく。

### (2) 教材

新聞紙 白紙 木工用ボンド（水で薄めたもの） ボンドを入れるカップ アルミホイル  
電子黒板 タブレット端末

### (3) 学習指導場面の工夫

学習形態	場面・工夫
一斉指導	手順や具体的にやることが明確になるように、電子黒板や実物投影機を活用する。ポイントをできるだけ簡潔に説明する。
個別最適な学び	自分のアイデアをより具体的に表現するために、必要な材料や用具の助言をおこなっていく。
協働的な学び	テーブルごとに助け合い、手順や道具等も共有しながら、理解を深めていけるようにする。

### (4) 補足資料

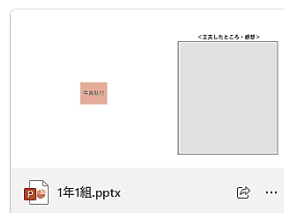
長谷川 禎一 9:07

あったらいいこんな靴（はりの技法）手順と参考作品




長谷川 禎一 9:20

はりの靴の写真と工夫したところを記入しましょう。



(5) 学習の展開

資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（学習活動の場面）				
自分のイメージした靴と実際に制作している靴との違いを見極め、制作しながら創意工夫し、表現していくことができる。				
	学習者の活動	「深い学び」につながる学習形態における支援	学習形態	GIGA 端末・クラウド環境の活用
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目標確認と準備</li> <li>制作カードに記入する。本時の学習についての説明を聞き、意欲を高める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>はりこの靴をどんな表現意図をもって仕上げていくか？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を提示する。</li> <li>前回までの制作状況がより具体的にわかるようにし、見通しを持たせる。</li> </ul>	一斉	電子黒板による提示 powerpoint 実物投影機の活用
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>弱い部分にどんどん新聞紙を貼っていく。</li> <li>アルミホイールをはがし靴底を補強していく。</li> <li>新聞紙のはみ出た部分を切り、形を整え、仕上げていく。</li> <li>靴の形成ができれば、表面のデザイン加工に取りかかる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導を中心に、それぞれの制作状況を確認していく。</li> <li>靴底の厚紙を仮止めし、補強しやすいよう援助する。</li> <li>靴の切り口をさらに新聞で補強し、表面の新聞紙をしっかりと貼り付けるようアドバイスをする。</li> <li>進度に個人差があるので、生徒にあった適切な助言し、進度の遅い生徒に対しては、別途支援する。</li> <li>生徒の制作意欲を喚起する。</li> <li>制作の進度を確認できるよう支援する。</li> </ul>	個別協働	実物投影機でポイントを指導 参考作品の提示 powerpoint
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の制作状況を確認する。</li> <li>制作カードの記入。</li> <li>後片付けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の工夫している箇所を紹介し、次の制作の参考になるようアドバイスをする。</li> <li>ボンドや新聞紙など、しっかりと後片付けができるよう支援していく。</li> </ul>	一斉	作品をカメラで撮影保存 teams